

# 建材 マンスリー

No.613 **11** NOVEMBER  
2016

特集

インテリアコーディネートで差をつける  
「工務店のリフォーム術」

好木心

木製格子天井が美しい  
「みんなの森 ぎふメディアコスモス」

注目企業を訪ねる

合名会社山本佐太郎商店



# インテリアコーディネートで差をつける 「工務店のリフォーム術」

新設住宅着工数減少が見込まれる中、既存住宅流通・リフォーム市場の拡大が予想される。  
 「住宅リフォーム実例調査」\*によると、戸建てリフォーム工場の目的の上位は、  
 「使い勝手の改善」63.2%、「住宅・設備の老朽化」59.3%で、  
 工事内容は「内装変更」「住宅設備の変更」がいずれも過半数を占めている。  
 このようにリフォームのきっかけは必要に迫られた小規模なものが多いと考えられる。  
 しかし、小規模リフォームでは、機能面でのニーズは満たされるものの、  
 住空間としての満足度が低く、施主にとっては“残念なリフォーム”で終わるケースもあるという。  
 これからは小さなリフォームに関しても、工務店は施主が満足する住空間を提案することが求められる。  
 今号は小規模リフォームにもインテリアコーディネートの考え方やテクニックを取り入れ、  
 満足度の高いリフォームを実現する手法を提案する。



## リフォームの満足度に大きく影響するインテリア

リビングデザインセンターOZONE(東京ガスコミュニケーションズ株式会社)は、住まいづくりの情報センターとして、家づくりをサポートするエンドユーザー向け活動を20年近く続けている。生活者からの新築やリフォームの相談に対しコンサルテーションを行い、登録する工務店や建築家などのマッチングを行う「リフォームではインテリアの出来映えが、顧客の最終的な満足度にかなり影響すると思います」と川端幸枝氏は語る。



リビングデザインセンターOZONE  
 住まいづくりソリューション部  
 コンサルティンググループ マネージャー  
 川端 幸枝氏

さらに、小規模リフォームでは水回りなどの機器交換の価格提案が多く、インテリアデザインは後回しにされがちなのに、限られた予算の中でコーディネート費用を捻出しにくいという実情もあります。

一方、インテリアコーディネーター側から考えると、売り上げに直結しない内装建材の提案にはあまり力が入らないというのも実態のようです。中にはインテリアデザインも対応できませんという工務店もありますが、ほぼ同じテイストの事例が多く、それではインテリア情報やセンスの面からも顧客の十分な満足は得られないと思います。

ただ、建築業界もこれで良いと思っているわけではありません。他社との差別化に大きな力を発揮するインテリアをもっと強化して、付加価値を付けたいという中小の工務店も少しずつ増えています。最近の外

図1. OZONEのリフォームコンサルティング

コースメニュー	ヒアリング	工務店選定	プラン	インテリア	工事中確認	完工後
デザインリフォームコース	○	○	○	○	○ (デザイン監修)	インテリア納品
フルコース	○	○ (コンペによる)	△ (プラン提案立会い)	—	△	1カ月点検立会い 3カ月訪問ヒアリング
HALFコース	○	○ (コンペによる)	△ (プラン提案立会い)	—	—	3カ月訪問ヒアリング
紹介コース	○	△ (紹介のみ)	—	—	—	3カ月訪問ヒアリング (大型物件のみ)

○：全て行う △：一部行う (手配・チェックなど)

図2. カスタマイズ&オプションメニューの例

	メニュー	料金(税別)
カスタマイズ	面談立ち会い	10,000円/60分
	プラン提案立ち会い	
	設計中サポート	180,000円 (130㎡以上 1,000円/㎡追加) ※ HALFコースと一緒にの場合は上記価格から40,000円減額
	工事中サポート	
オプション	プラン・見積もり相談	10,000円/60分 ※何度でも利用可
	工事ポイント相談	
	インテリアポイント相談	
	照明ポイント相談	

部のデザイナーと提携している工務店も出てきています」

**計画の初期段階でインテリアプランを決める**

OZONEでは、まず住まいづくりコンサルタントが、どのような家づくりをしたいかを顧客から徹底的に聞き出す。新築同様リフォームでもインテリア要素が重要となる。

「お客様のインテリアに関するイメージは漠然としています。そこで丁寧なヒアリングで要望をしっかりとつかうかがい、お客様が本当はどんな空間づくりをしたいのかを自身で気づいていただく。最近のお客様はインテリアに関して「自分スタイル」にこだわる方が多いので、お客様の好みを本当の意味で把握し、より最適なプランに導くことが大切です。

そして直接工事に関係のないカーテンなどのインテリアは、後から考えようと思いがちですが、リフォーム計画の初期段階から空間の完成イメージに合わせて決めていきます。こうすると、完成したときのクオリティが格段に上がりますし、その後の生活の満足度も変わってきます。これらは満足いくリフォームのため

にとっても大切なことです」

**インテリアの不満解消に向けた第二步**

インテリアを充実させれば、リフォーム工事受注において大きな武器となる。では、そのような人材を配置できない場合はどのようにすればいいのか。OZONEはその方向性を提案している。

「最新のデザイントレンドや情報を収集して、センスを磨くことも重要となります。まずは、私どもが毎週無料で開いているセミナーを覗いてみてはいかがでしょうか。主にエンドユーザーのためのインテリアの基本的なセミナーですが、工務店の方々も多く参加されています。そこで館内の様々な資料や建材ショールームを情報センターとしてご利用いただくのもよいかと思えます」

OZONEは、日本でも他に類を見ないBtoCの施設として住まいに関する幅広いアイテムのショールームやライブラリーなどを設け、中立的な立場で情報を提供している。

「OZONEのコンサルティング活動をj知って登録を検討していただくのもいいですね」

同社では工務店とインテリアデザイナーと顧客を結びつける様々なメニューを用意している。リフォームでは、デザインを重視した企画から工事完成までをサポートするデザインリフォームコース、フルコース、 HALFコース、無料で相談に応じ施工会社を紹介する紹介コースなどがある(図1)。その中でもお客様の多くが紹介コースを利用しているという。リフォームに関しては、やはり有料コーディネートに至りにくいのが現状だが、フルコースのメニューを分割して利用できるカスタマイズメニューや、インテリアや照明などのポイント相談が手軽にできるオプションメニュー(図2)も用意している。

このように、インテリアコーディネートのボトルネックである「料金」を明示し、手が届く価格で細分化することもコンサルティングを身近なものにする一つの手段である。

今後リフォームで他社と差をつけるためには、まずインテリアの大切さを再認識し、情報収集に励むことが先決である。さらには、既存の施設や仕組みを活用したり、気軽に相談できる仕組みを整えることが成功への第一歩であろう。

\*:「平成27年度 第13回住宅リフォーム実例調査」(一般社団法人住宅リフォーム推進協議会 2016年3月)

# インテリアコーディネートの テクニクで住宅の欠点をカバー

インテリアは美的センスが必須であると諦めている工務店が少なくない。しかし、テクニクを使えば施主の満足度を高めることもできる。今回は工務店がインテリアという視点を持ってリフォームに取り組むように、インテリアコーディネートの本質を知り、それがどのような効果をもたらして、どのような考え方で取り組むべきか、専門家に話を伺った。

## 住まいへの不満を聞き出す ヒアリング能力を持つ

「リフォームを検討中だが、工務店さんに空間のイメージが伝わらず、不安を感じている」という施主様からのご相談を受けることは少なくありません。設備の交換をはじめ断熱や耐震など機能面でのリフォームは安心して受けられるが、インテリアコーディネートに関しては不得意という工務店さんは多いと思われま

「町田瑞穂ドローテ氏は語る。設備の交換がリフォームのきっかけだとしても、背景には住宅に対する施主の不満がある。それをいかにして聞き出し、解決できるか。満足度の高いリフォームのためには、インテリアの知識を持ったうえでヒアリング能力が求められるという。」

「リフォームを考えると、不満のほとんどは、狭い、暗い、寒い、という三つに集約されます。これらを解決できていなければ、設備機器が新しくなっても、満足度は低いでしょう。」

とはいえ、部屋が狭いからといって小規模リフォームで面積を増やしたり、天井高を上げることは予算的にも困難だ。

「しかし、建築的な制約によってできないことも、インテリアコーディネートの力を使えば解決することができます。そのテクニクを知っているだけで、リフォームの満足度を高めることは可能なのです。」

例えば、リビングに置くソファの選び方ひとつでも効果を出せる。脚

「リフトアップを考えると、不満のほとんどは、狭い、暗い、寒い、という三つに集約されます。これらを解決できていなければ、設備機器が新しくなっても、満足度は低いでしょう。」

「しかし、建築的な制約によってできないことも、インテリアコーディネートの力を使えば解決することができます。そのテクニクを知っているだけで、リフォームの満足度を高めることは可能なのです。」

## 錯視効果を利用する 色・柄・視線のテクニク

それでは、インテリアコーディネートの効果を具体的にみていこう。もっとも使いやすいテクニクが、色の効果を利用することだ。色には

## 「後退色」と「進出色」という2種類の色を使い分けることで、空間の印象が大きく変わります」

感情(図2)や寒暖、距離感など心理的に訴える要素が強く、これを知っているだけでも、比較的容易に解決できる施主の不満は多い。「後退色」と「進出色」という2種類の色を使い分けることで、空間の印象が大きく変わります」

図3. 明度・彩度・色相のイメージ

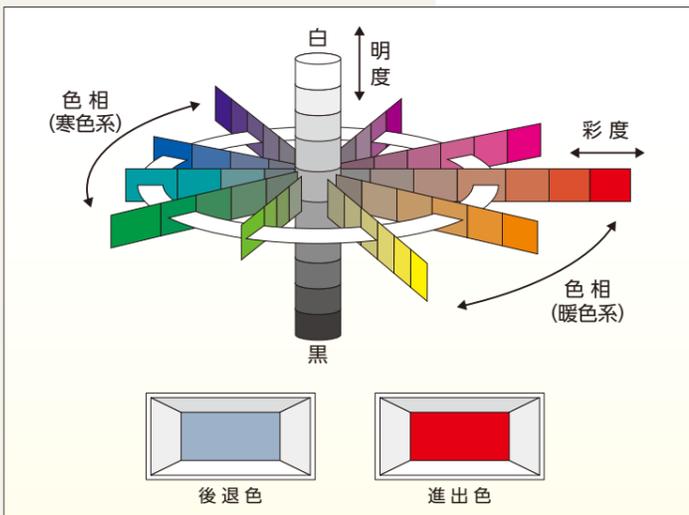
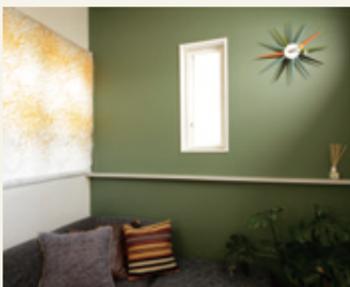


図4. 錯視の効果



横方向に1本の線(柵)をもうけることで、壁の幅を広く感じさせることができる

「柄の壁紙に抵抗があるなら、壁の真ん中に一直線の柵を作りつける方法もあります。これは錯視を応用したテクニクで、横方向に1本の線(柵)があることで、壁の幅を広く感

## テクニクを駆使し 多様化するニーズに対応

暗さへの不満を内装材でカバーするには明度の高い素材を選び、見切りなどの造作材にも気を配りたい。例えば、壁と天井が白の壁紙である場合、廻縁を白にするまたは設けないことで、視線が途切れず明るさとともに空間の広がりも演出される。

「幅木も同様で、床面の色に合わせて室内が広く見えるし、壁の色に合わせれば高さが感じられます。些細なことですが、この選択ひとつで住まいの雰囲気はまったく違うものになります」

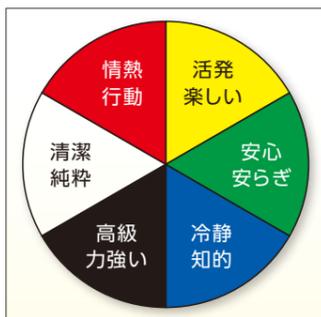
暖かさは、暖色を選択したり、木や布・コルクなどの素材で演出できる。しかし難しいのはキッチンをはじめとする水回りだろう。寒さ対策はもとより、掃除のしやすさや清潔感が大前提として求められるためだ。

図1. ソファ選択の効果



脚ありのソファにすることで、部屋を広く感じさせることができる

図2. 色が感情に与える効果



「水回りには、壁に掃除のしやすさと清潔感を両立する白いタイルを用いて、赤やオレンジなど暖色系のタイルをアクセントとして入れる。そうすることで、温かみを感じる空間を実現することができ、寒いという不満の解消にもつながります」

また、自然災害への危機感が高まっている近年では、「安全安心」というニーズも高くなっている。一番無防備な状態で過ごす寝室にはグリーン系の壁紙や間接照明などでリラックス効果を演出しつつ、照明を転倒しないブラケットタイプにするなど、安全性を高める工夫なども求められる。

さらに、水や保存食などの防災備蓄品が収納できるパントリーを、目立たせず、かつ使いやすい位置に作りたいなど、収納に対するニーズも多様化している。今後はこれらをインテリアコーディネートの視点を保持して解決していく力も求められるだろう。

インテリアのテクニクは幅広い。まずは、インテリアの重要性を認識し、施主が満足するリフォームにはそのテクニクが不可欠であること肝に銘じたい。



町田ひろ子アカデミー  
専務取締役 一級建築士  
町田 瑞穂ドローテ氏

\*フォーカルポイント：視線を集めるポイント。飾り棚や暖炉、床の間など

## Shabby chic ～シャビーシック～



写真提供=株式会社サラグレース

**海** 外セブを中心に人気が高まり、近年日本でも注目を集める。シャビーは「着古した」、シックは「上品」を表す。古いが味のあるアンティークと上品なレースなどのファブリックを混合した「クラシックでガーリー\*1」なスタイルである。

部屋の色調は白・グレージュ\*2で統一し、全体的に白っぽく使い込まれた雰囲気的重要。アンティーク加工した白い床に、デコラティブなモールやケーシング等を取り入れてクラシカル感を追加するとよい。

\*1 ガーリー：女の子らしい、可愛らしい

\*2 グレージュ：グレーとベージュの中間色

## Mid Century ～ミッドセンチュリー～

1940年代にアメリカで生まれたデザインスタイルで、当時のデザイナーズ家具を引き立てる上質な空間は、現在も中高年の男性を中心に根強い人気がある。

部屋の色はブラウンを基調とし、チークやウォールナット、チェリーなど色味・深みのある木材を使うと良い。建具などをシンプルなフォルムにすることで、洗練された木質感を演出できる。木材と相性の良い黒いレザーを合わせると高級感が増し、深い緑色のファブリックや幾何学模様のクロス等をアクセントに入れると、レトロな空間になる。



写真提供=Herman Miller Japan

## Scandinavian modern ～北欧モダン～

**寒** い冬を家の中で長く過ごす北欧で求められたスタイル。明るい色の木をシンプルに使うことで、「機能的+ぬくもり」が感じられ、幅広い層に人気がある。

木材は木目の穏やかなメープルやビーチなどを採用すると、全体が明るくナチュラルにまとまる。大胆な柄のクロスやファブリック、観葉植物などをアクセントにすれば、単調になりがちな空間をワンランク上の空間に演出できる。

家具には先端に向かって細くなるテーパードレックを、ダイニング照明には温かみのある白熱色のペンダントを使うと、ぐっと北欧テイストに近づく。

写真提供=住友林業株式会社



## 木製格子天井が美しい 「みんなの森 ぎふメディアコスモス」



岐阜県  
岐阜市



グローブの内部



写真提供 = 岐阜市

### 伊

東豊雄氏が設計した「みんなの森 ぎふメディアコスモス」は、2015年に誕生した岐阜市のランドマークだ。延べ床面積約

1万5000㎡の建物は図書館や交流センターなどで構成された「知・文化・絆」を育む複合施設になっている。2階の「知の拠点」市立中央図書館は、図書館の枠組みを超えた多目的くつろぎ空間である。天井から垂れ下がる布製の傘（通称グローブ）を中心に渦巻き状に設置された書架を、ヒノキの香りが漂う中で巡る。さながら本の森を散策しているようだ。

注目すべきは、グローブの上に広がる大きくうねった木製格子の天井である。岐阜県産「東濃ひのき」の薄板（無垢材）を職人が接着剤とビスで3方向に何層にも重ね、三角形模様を形成。膨らみを持たせたい箇所は薄板をしながら変化をつけており、あたかも波のように見える。また、積層は最も強度が必要な柱付近で21枚。そこから上部に向けて段階的に薄くなり、天窓周辺は自然光が多く入る仕組みだ。さらに、開閉式の天窓は、自然の風を取り込むこともできる。自然換気と照明補助等で消費エネルギーは半分に抑えられ、見た目の美しさだけでなく環境面にも配慮されている。天窓からの光をグローブが柔らかく拡散させて、傘下にある閲覧スペースの木製椅子と机を優しく包み込む。11個のグローブにはそれぞれテーマがあり、テーマごとにグローブの柄や家具の形状が異なるため、お気に入りの居場所を探す楽しさも味わえる。「宇宙にまでも広がりを持たせる施設」という想いで名づけられたメディアコスモスは、その名の通り市民の憩いの場に留まらず、観光施設としても多くの人々を魅了している。



## 「住宅ストック循環支援事業」がスタート 若者の既存住宅取得やエコリフォーム・建替えを支援 — 国土交通省

2016年度第2次補正予算が10月11日に可決・成立し、新設の補助制度「住宅ストック循環支援事業」がスタートした。国土交通省は250億円を計上し、若者(40歳未満)による既存住宅の取得や、耐震性が確保された省

エネ改修(エコリフォーム)、一定の省エネ性能を有する住宅への建替え(エコ住宅への建替え)に対して支援を行う。交付申請のために必要な補助事業者の登録受付が、11月1日から始まった。

### ■ 制度の概要

※ いずれも自ら居住する住宅が対象(購入して居住するものを含む)

	1. 良質な既存住宅の購入	2. 住宅のエコリフォーム	3. エコ住宅への建替え
要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者(40歳未満)が既存住宅を購入すること</li> <li>売買に際して、インスペクションを実施し、既存住宅売買瑕疵保険に加入すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコリフォームを実施すること</li> <li>リフォーム後に耐震性が確保されること</li> <li>※ 年齢制限なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性のない住宅を除却すること</li> <li>エコ住宅に建て替えること</li> <li>※ 年齢制限なし</li> </ul>
補助事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅建業者(買取再販等)</li> <li>インスペクション事業者</li> </ul>	リフォーム事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設業者(注文)</li> <li>宅建業者(分譲)</li> </ul>
補助対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ インスペクション</li> <li>□ エコリフォーム</li> </ul>	□ エコリフォーム	・エコ住宅の建設
補助額	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ インスペクション5万円/戸</li> <li>□ リフォーム工事内容に応じて定める額(定額)</li> </ul>	□ リフォーム工事内容に応じて定める額(定額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>30万円/戸</li> <li>(認定長期優良住宅やさらに省エネ性能の高い住宅の場合は、40万円/戸または50万円/戸)</li> </ul>
限度額	<ul style="list-style-type: none"> <li>50万円/戸</li> <li>(インスペクションとエコリフォームの合計額)</li> <li>※ 耐震改修を行う場合は65万円/戸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>30万円/戸</li> <li>※ 耐震改修を行う場合は45万円/戸</li> </ul>	50万円/戸

## 実質的に施工に携わらない企業を施工体制から排除する 建設工事の「一括下請負の判断基準」を明確化 — 国土交通省

いわゆる工事を丸投げする「一括下請負」\*1は建設業法で原則禁止されているが、このたび国土交通省は「一括下請負の判断基準」を新たに策定し、明確化した。判断基

準では元請・下請それぞれが果たすべき役割を以下のよう具体的に定め、一括下請負禁止のさらなる徹底を図る。

### ■ 一括下請負の判断基準

① 元請(発注者から直接請け負った者)が果たすべき役割	
施工計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>請け負った建設工事全体の施工計画書等の作成</li> <li>下請負人の作成した施工要領書等の確認</li> <li>設計変更等に応じた施工計画書等の修正</li> </ul>
工程管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>請け負った建設工事全体の進捗確認</li> <li>下請負人間の工程調整</li> </ul>
品質管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>請け負った建設工事全体に関する下請負人からの施工報告の確認、必要に応じた立会確認</li> </ul>
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設工事全体の労働安全衛生法に基づく措置</li> </ul>
技術的指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>請け負った建設工事全体に関する主任技術者の配置等法令遵守や職務遂行の確認</li> <li>現場作業に係る実地の総括的技術指導</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>発注者等との協議・調整</li> <li>下請負人からの協議事項への判断・対応</li> <li>請け負った建設工事全体のコスト管理</li> <li>近隣住民への説明</li> </ul>

元請けは、以上の事項をすべて行うことが求められる。

② 下請(①以外の者)が果たすべき役割	
施工計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>請け負った建設工事に関する施工要領書等の作成</li> <li>下請負人が作成した施工要領書等の確認</li> <li>元請負人等からの指示に応じた施工要領書等の修正</li> </ul>
工程管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>請け負った建設工事に関する進捗確認</li> </ul>
品質管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>請け負った建設工事の立会確認(原則)</li> <li>元請負人への施工報告</li> </ul>
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>請け負った建設工事に関する労働安全衛生法に基づく措置</li> </ul>
技術的指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>請け負った建設工事に関する作業員の配置等法令遵守</li> <li>現場作業に係る実地の技術指導</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>元請負人との協議</li> <li>下請負人からの協議事項への判断・対応</li> <li>元請負人等の判断を踏まえた現場調整</li> <li>請け負った建設工事に関するコスト管理</li> <li>施工確保のための下請負人調整</li> </ul>

下請けは、以上の事項を主として行うことが求められる。

\* 1 「一括下請負」:工事を請け負った建設業者が、実質的に施工に携わず、下請けに工事の全部または独立した一部を請け負わせること。

### 編集室より

- 弊社ホームページに特集ページのみを掲載中です。  
<http://sfc.jp/mokuzai/kenzaimonthly/>
- 広告掲載・誌面に対するご意見、ご感想は  
建材マンスリー編集室専用アドレスまでお寄せください。  
[kenzai-monthly@sfc.co.jp](mailto:kenzai-monthly@sfc.co.jp)

住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業企画部

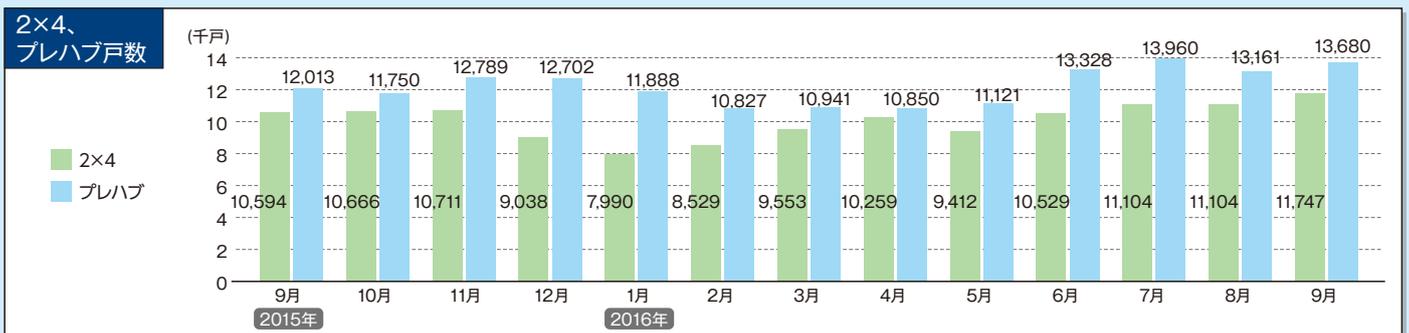
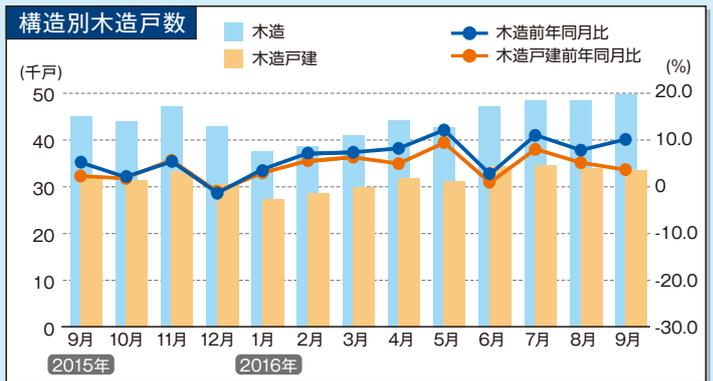
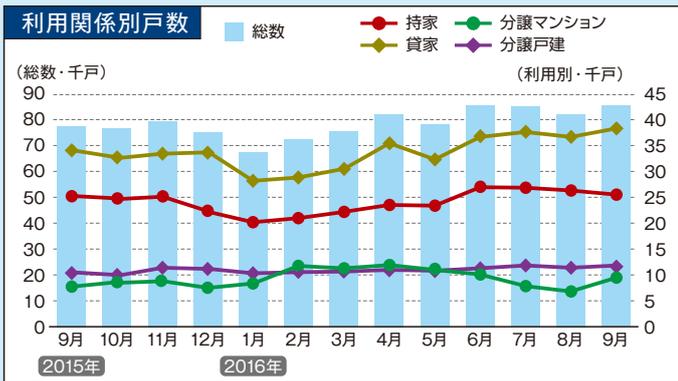
読書の秋ということで先日、自宅の本棚の整理をしました。  
編集後記 その過程で「手相占い辞典」から、現在の自分が「災難にあう手相」であることを知るはめに。残念なことに辞典であるゆえ、災難の回避方法までは載っていません。身のまわりから災難を想定してみるものの、災難の種がありすぎて何から予防線を張るべきか…悩んだ結果、とりあえず深酒には気をつけようという決意。来月号も無事に建材マンスリーが発行できますように。(M)

表紙:住友林業(株)住宅事業本部 世田谷支店 馬込展示場

\* 家具などのインテリア品は実際の展示と異なる場合があります

## 2016年9月の新設住宅着工戸数 単位：戸 ▲は減

		9月				8月	7月	6月	
		対前年同月比		対前々年同月比					
<b>新設住宅計</b>		<b>85,622</b>	<b>7,750</b>	<b>10.0%</b>	<b>9,740</b>	<b>12.8%</b>	<b>82,242</b>	<b>85,208</b>	<b>85,953</b>
建築主別	公共	1,095	106	10.7%	▲ 267	▲ 19.6%	1,512	1,621	2,172
	民間	84,527	7,644	9.9%	10,007	13.4%	80,730	83,587	83,781
利用関係別	持家	25,573	354	1.4%	956	3.9%	26,341	26,910	26,944
	貸家	38,400	4,308	12.6%	8,318	27.7%	36,784	37,745	36,910
	給与住宅	310	▲ 12	▲ 3.7%	▲ 577	▲ 65.1%	608	656	482
	分譲住宅	21,339	3,100	17.0%	1,043	5.1%	18,509	19,897	21,617
	うちマンション うち戸建	9,502 11,600	1,778 1,249	23.0% 12.1%	▲ 447 1,353	▲ 4.5% 13.2%	6,815 11,401	7,863 11,863	10,185 11,279
資金別	民間資金	77,555	8,007	11.5%	9,795	14.5%	73,300	76,160	75,962
	公的資金	8,067	▲ 257	▲ 3.1%	▲ 55	▲ 0.7%	8,942	9,048	9,991
	公営住宅	654	▲ 42	▲ 6.0%	▲ 211	▲ 24.4%	1,000	1,114	1,595
	住宅金融機構融資住宅	3,743	▲ 122	▲ 3.2%	287	8.3%	3,740	3,868	4,149
	都市再生機構建設住宅	238	169	244.9%	173	266.2%	296	328	475
	その他住宅	3,432	▲ 262	▲ 7.1%	▲ 304	▲ 8.1%	3,906	3,738	3,772
構造別	木造	49,733	4,555	10.1%	6,754	15.7%	48,717	48,693	47,502
	非木造	35,889	3,195	9.8%	2,986	9.1%	33,525	36,515	38,451
	鉄骨鉄筋コンクリート造	394	225	133.1%	21	5.6%	181	455	650
	鉄筋コンクリート造	19,871	1,756	9.7%	26	0.1%	17,437	20,278	22,671
	鉄骨造	15,397	1,158	8.1%	2,797	22.2%	15,796	15,631	14,975
	コンクリートブロック造 その他	86 141	30 26	53.6% 22.6%	31 111	56.4% 370.0%	60 51	81 70	77 78



(出所：国土交通省ホームページ [http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku\\_list.html](http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html))

木造住宅用充填断熱材

# ミラネクスト® & ミラネクスト<sup>ラムダ</sup>

特殊形状で施工ラクラク、屋根・壁・床すべてに対応

熱伝導率  
**0.022**  
W/m・K(23°C)

- 独自の形状により垂木・根太にピッタリフィット!!  
テーパ加工により作業性もUP!
- ミラフォームの独立気泡は吸水性がほとんどなく、  
長期にわたり高い断熱性能を発揮し続けます。
- JSPの独自の発泡技術により割れ欠けが少なく、  
施工時の破損を低減できます。

独自の形状により垂木・根太  
にピッタリフィット!! テーパー  
加工により作業性もUP!!

高機能で、しかもこんなに作業性がアップ!!



際根太に合わせて簡単に  
カットできるようにスリット  
を入れました。

対応製品 ミラフォーム® & ミラフォーム<sup>ラムダ</sup>

## 大引間割付断熱工法

必要なだけの「断熱材」をプレカットしてお届け

- カット作業が不要!!
- 端材が出ないので産廃費用削減!!
- ケース・坪単位購入ではないので  
余りがなく費用削減に!!
- 施工時間の短縮が図れます!!
- 施工工程の簡略化で人件費を削減!!



ムダなく  
スッキリ施工!!

お客さまはプレカット図面を  
ご用意していただくだけ!!

JSPへ

専用ソフトで  
割付図面を作成。

承認・発注後、  
断裁加工をします。

お客さまへ

ご指定場所へ納入。

株式会社 JSP 第一事業本部 建築土木資材事業部

ホームページ <http://www.co-jsp.co.jp>

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2(新日石ビル) TEL 03-6212-6363

東日本建材統括部

札幌営業所 TEL 011-231-2681(代)

仙台営業所 TEL 022-262-3271(代)

住宅資材グループ TEL 03-6212-6363

西日本建材統括部

名古屋営業所 TEL 052-962-3225(代)

大阪営業所 TEL 06-6264-7903(代)

広島出張所 TEL 082-568-0566(代)

福岡営業所 TEL 092-411-6854(代)